

「積極的平和主義」を問い直す

2014年7月1日、政府は、積極的平和の名のもと「国の存立を全うし、国民を守るための切れ目のない安全保障法制の整備について」と題する閣議決定を行いました。ここには、従来認められてこなかった集団的自衛権の一部行使の容認や、いわゆるグレーゾーンへの対応、国際平和維持活動への参加など、我が国にとっての大きな方向転換となりうる内容を含みます。

京都弁護士会では、元自衛官の泥憲和さんをお招きし、現場の立場から、積極的平和主義が自衛隊の活動にどのような変化をもたらすのかをお話頂くこととしました。

また、日弁連憲法問題対策本部から、弁護士の井上正信さんをお招きし、積極的平和主義のもとで行われるであろう安全保障体制の変化をご解説頂くこととしました。

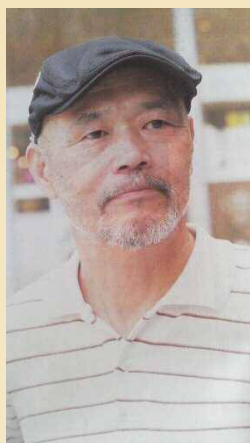
「現場」と「制度」の両面から、積極的平和主義を問い直します。

プログラム

第1部 泥 憲和さん（元自衛官）による講演

第2部 井上 正信さん（弁護士、日弁連憲法問題対策本部事務局）による講演

第3部 質疑応答



講演者紹介

元自衛官 泥 憲和（どろ のりかず）さん

1969年陸上自衛隊入隊。三等陸曹で退官。その後、自営業、法律事務所員となる。

『護憲的安全保障論』（2007年）で兵庫県弁護士会憲法作文優秀賞を受賞。

2014年、病気を期に退職後、本格的に言論活動に取り組み、『安倍首相から「日本」を取り戻せ！！』（2014年 かもがわ出版）を上梓。

軍事的視点から平和憲法の有効性を導出する手法が、多くの講演会で驚きと共感をもって迎えられている。

ヘイトスピーチに対抗するカウンター活動に最初期から関わっている1人でもある。

弁護士 井上 正信（いのうえ まさのぶ）さん

広島県尾道市で弁護士40年（尾道総合法律事務所）。

著作『徹底解剖秘密保全法』（2012年 かもがわ出版）のほか、安全保障問題に関する論説多数。

日弁連憲法問題対策本部事務局。

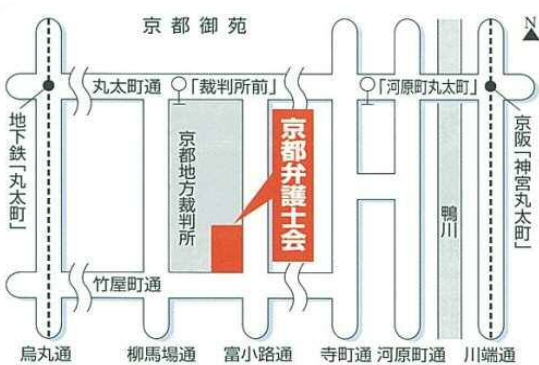


〈日時〉

2015年4月25日(土)

開演：午後 1 時 3 0 分（開場：午後 1 時）

入場無料
事前申込不要



〈場所〉

京都弁護士会館 地階大ホール

京都市中京区富小路通丸太町下る

<https://www.kyotoben.or.jp/>

お問い合わせ TEL：075-231-2336



きっとある あなたを支える 法と智恵

京 都 弁 護 士 会